

静岡県東部地域企業経営動向調査

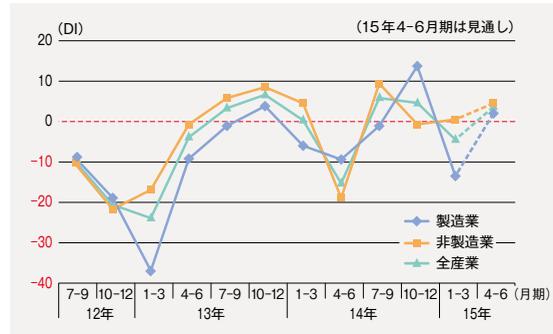
(2015年1-3月期実績、2015年4-6月期見通し)

1 業況概要(自社)

DIは製造業で大幅に低下、非製造業は上昇に転じる

静岡県東部地域における2015年1-3月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で-4.4(前期4.7)と2期連続で低下し、3期ぶりにマイナス水準となった。製造業では、食料品やパルプ・紙・紙加工品などで業況判断が下降に転じたため、DIは全体で-13.4(前期13.8)と大幅に低下した。一方、非製造業では建設業や旅館・その他宿泊所でDIが上昇したため、0.6(前期-0.6)と上昇に転じている。

来期の予想DIは製造業で2.1と反転上昇が期待され、非製造業も4.6と上向きが見込まれることから、全産業でも3.7と上昇に転じる見込み。



業種別天気図



(2014年10-12月、2015年1-3月期は前期比、2015年4-6月期は今期比見通し)

	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2014年10-12月期	☀️	☀️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️
2015年1-3月期	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️	☀️
2015年4-6月期	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️

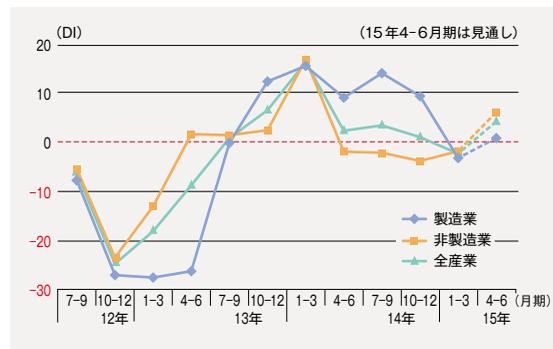
2 売上動向

製造業は2期連続で低下、非製造業は上昇に転じる

2015年1-3月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は-2.2(前期1.2)と2期連続で低下した。製造業では、パルプ・紙・紙加工品で大幅に低下、金属製品、一般機械器具、その他製造業でいずれも前年同期比10ポイント以上低下したため、全体でも-3.1(前期9.6)と落ち込んだ。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所では下向きとなったが、その他小売・サービス業と建設業では上昇したため、全体では-1.7(前期-3.7)と上昇に転じている。

2015年4-6月期の予想DIは、全産業で4.4と改善が見込まれている。うち、非製造業では6.3とプラス水準の回復が期待される。また製造業でも1.0と反転上

昇が見込まれる。



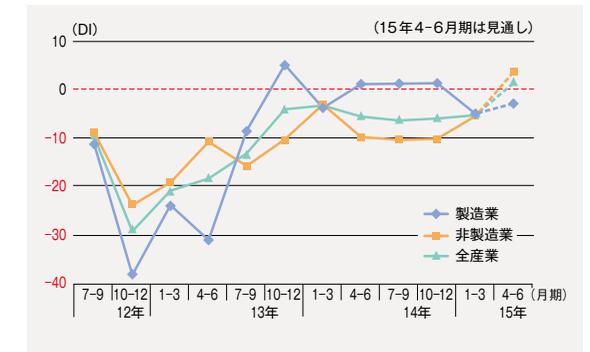
3 利益動向

製造業は下降してマイナス水準に、非製造業は改善に転じる

2015年1-3月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-5.5(前期-6.2)とわずかながら上向きとなった。製造業では、一般機械器具では前期比上昇となったが、食料品、パルプ・紙・紙加工品、金属製品で大きく下降したため、全体でも-5.2(前期1.1)とマイナス水準に転じた。一方、非製造業では建設業はわずかに低下したが、旅館・その他宿泊所、その他小売・サービス業等で前期比上向きとなったため、全体では-5.7(前期-10.4)と改善に転じている。

2015年4-6月期(見通し)の予想DIは、全産業で1.1と今期比改善が見込まれている。製造業では-3.1と上向きに転じ、非製造業でも3.4とプラス水準の回

復が期待されている。



4 経営上の問題点

「人材の育成」と「求人難」が前期比で上昇

「受注・売上の停滞・減少」の割合が前期比若干低下した一方、「人材の育成」が5ポイント以上上昇し、「原材料・仕入商品の値上がり」を上回って2番目に

多くなっている。また、「求人難」も前期比約4ポイント上昇しており、特に製造業と建設業で指摘する企業の割合が高まっている。

(単位:社、%)

	14年7-9月期		14年10-12月期		15年1-3月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	143	46.9	127	49.4	131	48.2	→
2. 人材の育成	103	33.8	80	31.1	100	36.8	↑
3. 原材料・仕入商品の値上がり	104	34.1	96	37.4	96	35.3	↓
4. 過当競争・製品安	88	28.9	69	26.8	78	28.7	↑
5. 従業員の高齢化	69	22.6	81	31.5	76	27.9	↓
6. 人件費の増加	59	19.3	57	22.2	67	24.6	→
7. 求人難	60	19.7	40	15.6	53	19.5	↑
8. その他経費の増加	71	23.3	52	20.2	50	18.4	↓

調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業502社 回答数272(回答率54.2%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2015年1-3月期 見通し:2015年4-6月期
5. 調査時点 2015年2-3月

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

※この他、今回は賃金等の水準の引上げ実績・予定についても調査しています。調査結果は弊所ウェブサイト(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。